

令和6年度 学校経営計画表

1 学校の現況

(1) 附属中学

学校番号	中学7	学校名	茨城県立竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校					課程		学校長名	太田垣 淳一					
教頭名	遠藤 弘太郎										事務長名	沢辺 貞夫				
教職員数	教諭	11	養護教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	2	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	6	技術職員等	5	計	27
生徒数	小学科	1年		2年		3年				合計		合計		クラス数		
		男	女	男	女	男	女			男	女					
		20	20	20	20	20	20			60	60	3				

(2) 高校全日制

学校番号	54	学校名	茨城県立竜ヶ崎第一高等学校					課程	全日制		学校長名	太田垣 淳一				
教頭名	宮内 和広					松延 亮一					事務長名	沢辺 貞夫				
教職員数	教諭	44	養護教諭	1	常勤講師	6	非常勤講師	5	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	6	技術職員等	5	計	68
生徒数	小学科	1年		2年		3年				合計		合計		クラス数		
		男	女	男	女	男	女			男	女					
	普通科	137	103	137	102	142	92			416	297	18				

2 目指す学校像

10年先を透徹した生徒主体の探究型学習を通じ STUDENT AGENCY を育む

3 三つの方針（スクール・ポリシー）

育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）	<p>【高潔】 自立した国際人の育成に向け、「一高」としての高い使命を貫徹する</p> <p>【誠実】 まっすぐ学びに向き合う、誠実で知的な学びの場となる</p> <p>【剛健】 質・量ともに高い結果を目指し、あくなき挑戦を続ける</p> <p>【協和】 異文化に胸襟を開き、受容的で持続可能な社会の範となる</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	<p>【生徒】 21世紀の国際社会に通用する主体的な学び手を創る</p> <p>【学校・教職員】 時代にあった合理的で生産的な学校運営を行う</p> <p>【地域社会】 地域と連携し共に成長する、開かれた学校となる</p>

<p>入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）</p>	<p>○高等学校全日制課程 本校の教育課程（カリキュラム）ならびに教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）にもとづき、高等学校において学びを深めながら、自らのキャリアを主体的に切り拓くために必要な、十分な基礎学力と学習意欲を有する人材。その上で、社会や自然に興味関心を持ち、それを行動や表現に移してきた人材</p> <p>○附属中学校 本校の教育課程（カリキュラム）ならびに教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）にもとづき、中学校において学びを深めるために必要な、十分な基礎学力と学習意欲を有する人材。その上で、社会や自然に興味関心を持ち、それを行動や表現に移すことのできる人材</p>
------------------------------------	--

4 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
	<p>民間のノウハウを活かしトップダウンでのスピーディな改革で組織を近代化；デジタル領域をはじめ国内有数の実践に導く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・改善から開拓へ～オンリーワンの存在を目指す～ ・持続可能な組織基盤の構築 ・コロナ前に戻さない知恵と改革姿勢
<p>資源と投資の視点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近代経営を導入（トッパーミドルーボトム） ・SSH 第3期指定を獲得（文理融合枠＋重点枠） ・外資，コンサル，NPO，自治体等の関係資本を拡充 ・不透明な財務、プロマネ人材の不在など間接業務にネック ・教委人事にリスク；療休／休職補充の遅れや負担の偏在 ・部活動運営の負担（週末の大会引率等） ・コロナ緩和による「昭和がえり」のリスク（無駄な出張等） 	<p>【外部資源を活用し戦略性を増した一歩先の学校づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営／カリキュラム・マネジメントの堅持 ・外部人材の供給網の開拓（専門家，実践家，TA等） ・財務の透明化・適正化（県費・団費・助成金）と戦略的投資 ・（教頭交代を受けた）経営チームの再構築；ミドル層の成熟化 ・マーケティング通じたブランド構築と関係資本の拡充 ・グローバル教育資源としての地域多国籍人材の開拓 ・R7 単位制加配（+3）の有効活用
<p>生徒／教育の視点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・GMARCH・東理以上の合格者が継続的に伸長（昨対＋28名） ・英検準1級合格者が2桁に到達 ・探究活動の標準化・特色化（ホンモノの課題解決）が堅調 ・ICT教育は国内有数の存在となる（文科生成AI実証ほか） 	<p>【知識・データによる合理的支援と探究のフロンティア開拓】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TX沿線等成長地域におけるターゲット層附中生の獲得 ・「アドバンスコース」と単位制課程の継続的改善・特色化 ・少人数、学び合い、スパイラル等による確かな学びの提供 ・探究型の学びを通じた思考力・創造力育成

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 附中生は基礎学力の定着にムラ（約 21%が偏差値 40 台） ・ 思考力や表現力を育む深い学びへの質的転換は道半ば ・ 最難関校合格者を輩出する指導力が不足（7 帝大 7 名） ・ 足許の少子化、公立離れと交通の悪さで生徒募集は先細りのリスク（R6 志望倍率：附中 3.9 倍、高校 1.2 倍） ・ 生徒自治は未成熟（生徒会は学園祭以外の動きが希薄） ・ 心や家庭の問題に起因する問題が散発（SC 利用のべ 82 人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6 年一貫運営の徹底とトカイナカ型の中高一貫教育の開発 ・ 総合知を活かしたソリューション教育（探究）の開拓 ・ 最先端の ICT 教育の開発・発信 ・ 保護者・生徒に対するキャリア教育の強化 ・ 内進生・生徒会役員に対する継続的なエンパワメント ・ 生徒・保護者満足度を高める CRMの導入 ・ 特別棟長寿命化工事による質低下防止・インフラ向上
業務プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ カリキュラム刷新、「アドバンスコース」開設に成功 ・ 中高横断での人事・運用により中高分断が緩和 ・ 教科主体の運営に移行；AL が徐々に浸透 ・ 月報・授業評価等カリマネを継続（報告率 80%） ・ 外国籍教員、ALT 倍増などを通じ組織多様性がやや向上 ・ いじめの積極的な認知を推進（4 件） ・ 到達度評価を模試業者に依存し分析ノウハウを持たない ・ ガバナンスは意識・仕組みとも脆弱（ヒヤリハット複数件） ・ 月 80 時間超過のべ 2 名 	<p>【共同体から機能体への転換、アウトカム重視の生産性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人の質に左右されず安定運営できる「仕組み化」（方針等） ・ 一人ひとりの仕事の質向上（目的・優先度、精度、責任感） ・ 民間並みのガバナンス感覚とプロ意識の醸成 ・ 実績・能力の可視化とデータにもとづく PDCA（BI+アナリスト） ・ シラバス公開等、対保護者・生徒の説明責任の強化 ・ 出口指導力の再構築・総合型入試の活用 ・ いじめ防止・危機管理等の即日報告・手順順守（継続） ・ アウトカムに焦点を当てた働き方改革；生成 AI など DX 推進
学習と成長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成長意欲に大きな濃淡；古い指導法のリスクリングに難渋 ・ 適正評価・適所配置・有能なミドルの登用を継続 ・ 授業研究が習慣化（年 2 回）；コーチング等研修を拡充 ・ ICT の活用度は県内有数；ただし多くは教材提示に留まる ・ 県域を超えた交流・学習は希少（県高教研が中心） 	<p>【専門性と成長意欲の高い人材が集い創発する現場作り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習チームを軸とした PLC（学び合う専門家集団）の構築 ・ 流動性・多様性を大切にした緊張感のある職場づくり ・ 外発的動機の強化（責任の明確化と能力・実績にもとづく処遇） ・ 県境・国境を超えた優良校との人的交流・出稽古の奨励 ・ 指導ノウハウの形式知化；研鑽環境の整備（国数英）

5 中期的目標と本年度の重点目標

中期的目標（太字）と重点目標（本年度のものに○）	評価指標	担当
【生徒】 21 世紀の国際社会に通用する主体的な学び手を創る		

総合知を用いた真正な探究学習を通じ本物の課題解決力を育む (SSH 基礎枠テーマⅠ)	・イノベーション力の向上 ・【KPI】全国規模の大会実績・商用化・特許等	探究
ゆるぎない教科指導を通じ基礎学力を固める (SSH 基礎枠テーマⅡ)	・模試 (平均点偏差値) ・【KPI】授業評価	学習
開かれた学びと異文化との出会いを通じ、自ら行動し創造する力を育てる (SSH 基礎枠テーマⅢ)	行動力/創造力の向上 (、参加/受賞実績など)	探究、グロ、キャ、特活
最先端のデータ・デジタル技術を身に着けた、卓越したイノベーション人材を育てる (SSH 重点枠)	【KPI】IT 資格	情報科, DD, 探究
異文化との接触を当たり前の日常にする	【KPI】英検合格者数	グロ, 英語科
ポストヒューマン時代の生き方を啓発し学ぶ動機につなげる	保護者参加型キャリアイベントの開催数	キャ
【学校・教職員】時代にあった合理的で生産的な学校運営を行う		
カリキュラム・ポリシーにもとづく6年間一貫した学びを提供する	%シラバス公開	教務、学習
生徒の AGENCY (自由と責任を扱う力) を育む学校生活を演出する	自己効力感アンケート	特活, 生支
多様な学びを促進する学習環境を提供する	学校評価「生徒3 学校の施設・設備に満足している。」	情メ
国内外の進学ニーズに応えるカレッジカウンセリングを提供する	【KPI】進学実績	進路
組織の生産性と財務効率を高める	残業 80 時間を超える教職員 0	全教職員
内外から信頼される学校運営を行う	生徒事故 0, 教員不祥事 0, 事務ミス 0	保健・生支, 全教職員, 事務

【地域社会】 地域と連携し共に成長する、開かれた学校となる		
アドミッション・ポリシーにもとづく戦略的な生徒募集を行う	%ターゲット層獲得（、附属中出願倍率）	AO
竜一の価値を効果的に伝え優良な関係者との縁を築く	フォロワー数（認知・エンゲージメント）	マケ（MO / PR / PD / P&A）